

SecureDoc Enterprise Server

リリースノート

製品バージョン: 9.0 SR3

2023 年 3 月

(Rev 1.0)

更新履歴

日 付	バージョン	更新内容
2023 年 3 月		9.0 SR3 リリース

目次

本リリースバージョンについて	3
システム要件	4
KnownConfigs.XML ファイルについて	5
プログラム(プロダクト)名、用語について	6
重要なお知らせ	7
追加されたサポート OS	7
新機能	7
改善された機能	8
特定のハードウェアに関連する対応	9
制限事項	10
特定のハードウェアに関する制限事項	11
その他	11
サポートが必要なお客様	12
ウィンマジックの連絡先	12

本リリースバージョンについて

このドキュメントには、本バージョンに関する重要な情報が含まれており、全体を確認されることを強くお勧めします。最新バージョンでは、過去の不具合の修正及び新機能の追加など、製品が強化されています。改善された機能、安定性のための修正プログラム、セキュリティの強化のために、最新のソフトウェアをインストールして、常に最新の状態に維持し利用されることを強くお勧めします。v9.0 SR1 以降、MagicEndpoint と MagicEndpoint IdP の機能が追加された他、Azure AD をサポートするための重要な機能が組み込まれています。

旧バージョンについて

ウィンマジックは、すべての環境で最新バージョンの利用を推奨しており、アップデートをするようにしてください。

バージョン	リリース日	EOL	ビルド情報
9.0 SR3 (現行)	2023 年 3 月 2 日	2026 年 3 月 1 日	Build# 9.0.300.118 Build# 9.0003.103 (macOS)
9.0 SR2	2022 年 12 月 9 日	2025 年 12 月 8 日	Build# 9.0.200.207 Build# 9.0002.198 (macOS)
9.0 HF1	2022 年 9 月 7 日	2025 年 3 月 30 日	Build# 9.0.001.1053 (Windows クライアントのみ)
9.0 SR1	2022 年 7 月 21 日	2025 年 7 月 21 日	Build# 9.0.100.149 Build# 9.0001.73 (macOS)
9.0	2022 年 3 月 31 日	2025 年 3 月 30 日	Build# 9.0.000.1047 Build# 9.000.1030 (macOS)
8.6 SR1	2021 年 9 月 8 日	2024 年 9 月 7 日	Build# 8.6.100.148 Build# 8.6001.85 (macOS)
8.6	2020 年 12 月 8 日	2023 年 12 月 7 日	Build# 8.6.100.148 Build# 8.6000.594 (macOS)
8.5 SR2	2020 年 6 月 11 日	2023 年 6 月 10 日	Build# 8.5.200.688 Build# 8.5001.632 (macOS)
8.5 SR1	2020 年 4 月 8 日	2023 年 4 月 7 日	Build# 8.5.100.638 Build# 8.5001.632 (macOS)
8.5	2019 年 12 月 5 日	2022 年 12 月 4 日	Build# 8.5.000.480 Build# 8.5001.448 (macOS)

注 Hotfix のライフサイクル終了日は、そのベースとなるバージョンまたはサービスリリースと同じです。

旧バージョンのリリースノートは、以下のサイトでご確認ください。

<https://www.winmagic.com/jp/support/jp-release-notes>

システム要件

SecureDoc Enterprise Server 及び SecureDoc クライアントのシステム要件:

<https://winmagic.com/ja/data-security-support-jp/system-requirements/>

デバイスの互換性:

<https://winmagic.com/en/data-security-support/device-compatibility/>

- 注** SES の DB 作成に必要な SQL のインストールでは、「機能の選択」で、「フルテキストインデックス作成機能（フルテキスト検索機能）」をデータベースエンジンにインストールしておく必要があります。
フルテキストインデックス作成機能については、マイクロソフトのサイトで、ご確認ください：
<http://msdn.microsoft.com/ja-JP/jp/library/ms143786%28v=sql.100%29.ASPX>
フルテキストインデックス作成機能がインストールされていない場合、SES のインストール中にインストールされていないことを示すメッセージが表示されますが、SES のインストールを中止することはできません。
インストールされていない場合、SQL Server にフルテキストインデックス作成機能を組み込む必要があります。
- 注** SES コンソールの機能を適切に使用するためには、SES コンソールが稼働しているサーバーやクライアントデバイス（管理用デスクトップマシンなど）において、ユーザーが少なくともローカルの管理者権限を持っている必要があります。Active Directory の OU をインポートする場合、ドメインにログインするアカウントは管理者権限である必要があります。
- 注** Bluetooth 接続のスマートフォン（モバイルトークンベース）を利用する認証は、Windows 10 または Windows11 のみのサポートです。
- 注** MagicEndpoint を利用する場合、MagicEndpoint をインストールする前に、SecureDoc クライアントソフトウェアをインストールし、デバイスを SecureDoc Enterprise Server (SES) に登録する必要があります。
- 注** MagicEndpoint を利用するデバイスでは **TPM 2.0** が必要です。
- 注** Azure Active Directory (Azure AD) の使用を希望するお客様は、v9.0 以降 にアップグレードする必要があります。
旧バージョンの SES では Azure AD はサポートされません。
旧バージョンの SecureDoc クライアントのデバイスは、AzureAD に参加させる前に、v9.0 以降にアップグレードする必要があります。

Bluetooth (Bluetooth Low Energy) 接続のスマートフォン（モバイルトークンベース）をプリブート認証で利用したいお客様へ

- Windows 10 または Windows11 のみのサポートです。
- PBL および PBLU のみのサポートです。PBU では利用できません。
- コンピュータのハードウェア構成 (BIOS または UEFI 設定) で Bluetooth を有効にしてください。

KnownConfigs.XML ファイルについて

Windows デバイスへのSecureDoc のインストールで、個別の設定が必要なデバイスについて情報が得られると、ウィンマジックは、そのデバイスに必要な設定内容をKnownConfigs.XML ファイルに追記します。

通常、SES で作成したWindows デバイス向けSecureDoc クライアントのインストールパッケージには、KnownConfigs.XML が含まれています。クライアントへのインストール時にインストーラーがデバイスを検知し、KnownConfigs.XML 内にそのデバイスを見つけた場合、記述されている設定内容に従ったインストールを自動でおこないます。

KnownConfigs.XML によって、特定のデバイスにおける既知情報の知識を必要とせず、インストール時における問題を回避することができます。

※ 最新のKnownConfigs.XML ファイルについては、製品をご購入いただきました販売代理店へお問合せください。

KnownConfigs.XML ファイルの変更方法：

1. Windows Explorer から c:\Program Files(x86)\WinMagic\SDDDB-NT に移動します。
2. 次に、*.xml のように XML ファイルを検索します。
3. 検索結果リストを名前別にソートします。
4. KnownConfigs.XML ファイルが見つかった各ディレクトリについて、最新の KnownConfigs.XML と置き換えます。

注 KnownConfigs.XML ファイルは、ウィンマジックのみがその開発および機能強化する権利を保持しています。お客様による KnownConfigs.XML ファイルの変更起因するサポートを要求される場合、ウィンマジック独自の裁量で追加のサポート費用を請求することがあります。

ウィンマジックは、KnownConfigs.XML を拡張および向上する方法についてのお客様からのアイデアや提案を歓迎していますが、ウィンマジックは、多くのお客様にとって利益になると考えられる KnownConfigs.XML に対する変更、テスト、承認、および公表する唯一の権利を保持します。

プログラム(プロダクト)名、用語について

ウィンマジックのプログラム(プロダクト)名や用語について、その一部を説明します。

プログラム名

- SES** ... SecureDoc Enterprise Server の略称、SecureDoc クライアントを管理します。
- SESWeb** ... SecureDoc Enterprise Server Web コンソール(SDWeb と記載している場合があります)
- SDConnex** ... クライアントとの通信をおこなう通信プログラム

機能名

- PBA** (Pre-boot Authentication) ... プリブート認証 (OS 起動前の認証)
- RME** (Removable Media Encryption) ... リムーバブルメディア暗号
- RMCE** (Removable Media Container Encryption) ... リムーバブルメディアコンテナ暗号
- SFE** (SecureDoc File Encryption) ... SecureDoc ファイル暗号
- DAC** (Disk Access Control) ... ディスクアクセスコントロール
- Port Control** ... ポートコントロール

Windows デバイスのプリブート認証(PBA)プログラムについて

- PBL** (Pre-boot for Legacy) ... Legacy デバイス向け、PBA プログラム
- PBU** (Pre-boot for UEFI) ... UEFI デバイス向け、デフォルトの PBA プログラム
- PBLU** (Pre-boot for Linux UEFI) ... UEFI デバイス向け、Linux ベースの PBA プログラム

プリブートネットワーク認証について

- PBN** (Pre Boot Network) ... プリブート認証で、ネットワークを利用すること
- PBNA** (Pre Boot Network Authentication) ... プリブート時に、SDConnex と接続しネットワーク認証する
- PBConnex** ... SDConnex を使用して、ネットワーク認証をおこなう機能

BitLocker 管理について

- SDBM** (SecureDoc for Bitlocker Managment)
- SDBL** (SecureDoc for BitLocker) ... BitLocker 標準機能のプリブートを使用し、SES で管理する
- SDOT BL** (SecureDoc on top for BitLocker) ... BitLocker 向け SecureDoc のプリブート認証プログラム

File Vault2 管理について

- SDFV2** (SecureDoc for FileVault2) ... FileVault2 の暗号化・管理を SES でサポートするプログラム

その他

- SDOSA** (SecureDoc for OSA) ... OSA (Operating System Agnostic)
TCG Opal ディスク用のプリブートプログラム
オペレーティングシステムを選びません。
- MagicEndpoint** ... FIDO2 や多要素認証に対応した認証アプリケーション

※ 以降、SecureDoc を【SD】、MagicEndpoint を【ME】と表記している場合があります。

重要なお知らせ

リファレンス	説 明
SD-43817	SecureDoc Essentials for Windows の廃止 SecureDoc Essentials for Windows は、SecureDoc Enterprise for Windows クライアントのスリム化されたバージョンであり、BitLocker 暗号化の管理及び、いくつかの主要な SecureDoc 機能を備えていました。 このタイプのクライアントが市場に受け入れられていないため、製品の提供を合理化するために廃止することになりました。

追加されたサポート OS

リファレンス	説 明
	macOS Ventura ビルド 13.2 (22D49) および 13.2.1 (22D68) のサポート
SD-41652	Ubuntu 22.04 のデスクトップ及びサーバーバージョンのサポート
SD-43435	RHEL 8.7 Kernel 4.18.0-425.3.1.el8.x86_64 のサポート

新機能

リファレンス	説 明
SD-42802	【PBLU】ネットワーク / IdP を利用したスマートフォンベースの多要素認証
SD-42903 SD-43090	WinMagic Authenticator のインストールされたスマートフォンを、これまで Bluetooth 接続によって、プリブート時の認証デバイスとして設定可能でしたが、それに加えて、ネットワーク接続を介して認証をできるようになりました。 Profile type: SecureDoc Enterprise for Windows [General options] -> [Hardware Authentication]

改善された機能

リファレンス	説 明
SD-36531	【SES】 インストールパッケージで、デバイスをグループに追加する機能を追加 インストールパッケージの設定で、インストール時にデバイスをどのフォルダに配置するかを指定できますが、同様に本バージョンではデバイスを指定されたグループに登録できるようにしました。
SD-42892	【PBN】 Wi-Fi 接続に必要なパスワードの設定可能な文字数を変更 プリブートネットワーク認証で Wi-Fi を使ってアクセスポイントに接続する場合、プロファイルで設定可能なパスワードの長さを 32 文字から 64 文字に変更しました。 これにより、非常に長いパスワードが設定されているアクセスポイントへの接続にも対応できるようになりました。
SD-43000	【PBLU】 BLE 機能の改善 Bluetooth Low Energy 通信を使用する場合、以前のバージョンではユーザーのスマートフォンに承認プロンプトが表示されるまでに時間がかかることがありました。 本バージョンでは、以前のバージョンよりも迅速に表示されるようになり、より優れたユーザーエクスペリエンスを提供します。
SD-43104	【PBLU / SED】 BLE によるプリブート認証が可能になりました これまで、自己暗号化ドライブ (SED) を搭載したデバイスでは、Bluetooth Low Energy ベースのスマートフォンによる認証はサポートされていませんでした。 この制限が解除されたことで、ユーザーはハードウェアで暗号化されたエンドポイントデバイスを使用して、プリブート及び Windows で SecureDoc / MagicEndpoint のパスワードレス 1 ステップログイン機能を利用できるようになりました。
SD-44148	【SESWeb】 フィルタリング表示における改善 フィルタリングした場合、単にビジーではなくハングしているように見える場合があります。 本バージョンでは、これを修正し、フィルタリングはレポートと同じルールに従い、一度に典型的な 50 行を返すようになりました。
SD-44165	【SESWeb】 デバイスリストをフィルタリングさせる問題を修正 これまで、デバイスのルート フォルダに存在する可能性のあるデバイスを表示するためのフィルタリングで、フォルダ構造では、「Null」を選択する必要がありました。 本バージョンでは、デバイス リストを表示するフォルダを選択する際に、フィルタリングすると、「ルート フォルダ」が表示されます。

特定のハードウェアに関連する対応

リファレンス	説 明
SD-43146	Microsoft Surface Pro 8 内容: プリブート認証時に、タッチパッドと脱着式キーボードが機能しない。 (無線 LAN、USB 接続のキーボード及びマウスは機能する。) 問題が発生したデバイス及び環境: Microsoft Surface Pro 8 Version: SecureDoc 9.0 SR1 PBA type: PBLU 上記の問題は、本バージョンで対応済です。
SD-43972	HP ProBook 445 G8 内容: 有線 LAN を利用後、ケーブルを外して再起動すると、プリブート時に Wi-Fi でアクセスポイントへ接続できませんでした。 問題が発生したデバイス及び環境: HP ProBook 445 G8 MediaTek MT7921 NIC Version: SecureDoc 9.0 SR2 PBA type: PBLU 上記の問題は、本バージョンで対応済です。

制限事項

リファレンス	説 明
SD-41902	【SES / ADSync】AD からユーザー削除後、同名のユーザーを作成する場合の注意 下記のシナリオにおいて、UPN 名を使ったログインが必要になります。 1. Active Directory からユーザーが削除された場合、ADSync による同期によって SES はそのユーザーを「Recycle Bin」に移動します。 2. プリブートネットワーク認証が設定されている場合、影響がある全てのデバイスからユーザーのローカルキーファイルが削除されます。 3. Active Directory に同名のユーザーID を再作成します。 4. SES の Recycle Bin に同名のユーザーID が存在するため、SES はドメイン名を追加した一位のユーザーID を作成します。(tsuzuki@domain など) 5. プリブート認証時、ドメイン名が追加された UPN 名によるログインとなります。 回避策: UPN 名を使用したくない場合 以前に削除したユーザーID を Active Directory に戻す前に、古いユーザーID を SES の Recycle Bin から削除し、そこに存在していないことを確認してください。
SD-43430	【SD / ME】RDP 接続時、双方で多要素認証を設定している場合は認証が必要となる MagicEndpoint を使用したリモート デスクトップへの認証で、ユーザーの操作は不要に設定していても、双方のデバイスで多要素認証が設定されている場合、ユーザーはリモートデスクトップ接続の認証を求められます。 Bluetooth 接続によるスマートフォンを使った認証の場合、WinMagic Authenticator で RDP ログインセッションの確認が必要です。
SD-44409	【SES / SESWeb】PBA 認証方法により、「Active auto-boot」はサポートされません。 Bluetooth あるいはネットワークを介したスマートフォンによる認証を設定しているデバイスに、SES から「Active auto-boot」コマンドを実行した場合、SecureDoc Credential Provider による Windows へのサインイン認証は許可されません。 スマートフォンに認証要求も表示されません。

特定のハードウェアに関する制限事項

リファレンス	説 明
SD-43363	【Lenovo ThinkPad L14 Gen 3】WinMagic Mobile Token はご利用いただけません Lenovo ThinkPad L14 Gen 3 (AMD) では、Bluetooth 接続のスマートフォンによる認証は利用できません。"BT device not found" というエラーが表示されます。 本デバイスに実装されているワイヤレス ネットワーク インターフェイス カード (NIC) ID は、14c3 ("MEDIATEK Corp.") で、デバイス 0616 ("MT7922 802.11ax PCI Express Wireless Network Adapter") に Bluetooth 機能が搭載されています。 回避策: 可能であれば、USB 接続の Bluetooth アダプタを購入し、デバイスの UEFI / BIOS で内蔵 Bluetooth アダプタを無効化することを検討してください。 ウインマジックでは、Bluetooth ハードウェアを搭載していないデバイス等のために、USB 接続の Bluetooth アダプタの検証を開始しています。 例として、ORICO-BTA-608 Bluetooth 5.0 (Realtek driver - RTL8761B) は、弊社の QA テストに合格しています。 詳細については、 https://www.orico.cc/usmobile/product/detail/id/7382Affected をご覧ください。

その他

リファレンス	説 明
SD-41861	【PBLU】Linux カーネルの更新 利用可能なドライバ、セキュリティパッチ、および SecureDoc の機能を維持するために必要なその他の要素に対応するため、利用可能な最善の Linux カーネルに変更しました。 ブリブートコードは、Linux カーネルバージョン「5.15.30」を使用しています。

サポートが必要なお客様

弊社製品はご購入いただきました販売代理店によって、問い合わせ窓口が異なります。
サポートが必要なお客様は、製品をご購入いただきました販売代理店にて承ります。
既に SecureDoc をご利用いただいております、アップグレードに関するサポートが必要なお客様も、製品をご購入いただきました販売代理店にて承ります。

ウィンマジックの連絡先

ウィンマジック・ジャパン株式会社

〒105-0022

東京都港区海岸 1-2-3

汐留芝離宮ビルディング 21 階

電話番号: 03-5403-6950

営業担当者へのお問い合わせ: sales.jp@winmagic.com

テクニカルサポート: support.jp@winmagic.com

謝辞

本製品では、Antoon Bosselaers、Hans Dobbertin、Bart Preneel、Eric Young (eay@mincom.oz.au)、そして Rijndael AES アルゴリズムの開発者である Joan Daemen および Vincent Rijmen によって開発された暗号化ソフトウェアが使用されています。

「本製品では、OpenSSL Toolkit での使用を目的として、OpenSSL Project (<http://www.OpenSSL.org/>) によって開発されたソフトウェアが使用されています。」

ウィンマジックは、このプロジェクトの開発者によるソフトウェアの提供に対して、ここに感謝の意を表します。

©Copyright 1997 - 2023 by WinMagic Corp. All rights reserved.

Printed in Canada

カナダおよび米国では、多くの製品、ソフトウェアおよびテクノロジーが輸出規制の対象となっています。

ウィンマジックの製品の場合、お客様ご自身でこれらの規制の詳細を理解して戴く必要があります。

ウィンマジック製品の輸出と再輸出は、カナダ国境サービス庁 (CBSA) と、アメリカ合衆国商務省産業安全保障局 (BIS) のそれぞれが管理する、カナダおよびアメリカ合衆国の法律の規制を受ける場合があります。

より詳しい情報は、ウィンマジックの Web サイトまたは関係省庁の Web サイトで、ご確認ください。

WinMagic、SecureDoc、SecureDoc Enterprise Server、Compartmental SecureDoc、SecureDoc PDA、SecureDoc Personal Edition、SecureDoc RME、SecureDoc Removable Media Encryption、SecureDoc Media Viewer、SecureDoc Express、SecureDoc for Mac、MySecureDoc、MySecureDoc Personal Edition Plus、MySecureDoc Media、PBConnex、SecureDoc Central Database および SecureDoc Cloud Lite は、米国およびその他の国における WinMagic Corp. の商標です。

本文中のその他の社名、製品名等は、各社の商標、または登録商標です。

© 2023 WinMagic Corp. All rights reserved.

このドキュメントは、情報提供のみを目的としています。

ウィンマジックは、明示的にも暗黙的にも、このドキュメントについて保証を一切しません。

ここに記載されているすべての仕様は、予告なしに変更されることがあります。